

プリント基板製造工程を効率化する インテグレーションCAMシステムを発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区/社長:石田 明)は、プリント基板製造工程の効率化を図るため、基板の回路パターンが設計されたCADデータを当社のプリント基板製造装置に取り込むことができるインテグレーションCAM*システム「CI-7000」を2000年6月7日から国内市場向けに販売します。

プリント基板業界には、基板上の配線パターンを設計するためにCAD(コンピューターを用いた設計)システムが用いられ、さまざまな形式のCADデータが生成されています。モバイル端末機器や携帯電話などに使用されるプリント基板の需要の増加に伴い、基板パターンの制作が頻繁に行われ、プリント基板製造工程では作業効率、工程管理、歩留まりの飛躍的な向上を目的に、多様なCADデータに対応したCAMシステムが求められています。

このたび販売する「CI-7000」は、BARCO GRAPHICS NV(本社:ベルギー、バーコ・グラフィックス NV、以下バーコ社)がすでに販売しているCAMソフトウェア「U-CAM」を、当社がインテグレーションしたシステム。これはバーコ社からのOEM供給によるもので、このソフトウェアの採用により、大日本スクリーンは当社の各種プリント基板業界向け製造装置とあらゆるCADシステムとの接続とデータ交換が可能となり、当社製品の拡販が期待できます。また、バーコ社は日本市場において同社のCAMソフトウェアの拡販が可能となります。

「CI-7000」は、業界でパターン設計に使用されているRS-274X、ODB++、ガーバー準拠フォーマットなどのあらゆるCADデータを簡単に取り込み、当社のプリント基板製造装置で使用するRS-274Xフォーマットに変換します。この機能により、当社のレーザプロッターをはじめ、AOIシステム、マスク描画システム、レーザ直接描画システム、自動精密測長機が「CI-7000」を介して、あらゆるCADシステムとリンク、CADデータを取り込むことができます。これにより、機器メーカーの枠を超えて、プリント基板の柔軟な生産環境を提供できます。

「CI-7000」は、単なるCAMシステムにとどまらず効率的な生産をサポートする数々の機能を搭載しています。各種シミュレーション機能により製造上の問題点を事前にチェックし損失コストを大幅に削減できます。さらに、プリント基板製造工程のジョブ情報を一元管理でき、歩留まり管理や工程分析なども可能となります。

発売時期:2000年6月7日

年間販売台数:20台

販売価格:585万円より
(各種ソフトウェアは、目的に応じてオプションで追加できます。)



インテグレーションCAMシステム「CI-7000」
この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/photo.html>)

主な機能

1. 多層板同時編集 (JOBメニューによる基板イメージ編集)
2. 多彩な輪郭データ編集機能
3. DRQ (単一層、層間のデザイン・ルール・チェック)
4. 技術クラス分析
5. クリアランスの統計処理
6. ネットリスト、オブジェクト、イメージ比較 (編集前、後)
7. 自動多面付け機能
8. 銅面積計算機能
9. ネガ・ポジ合成編集
10. 自動フラッシュ変換
11. ピンホール自動修正機能
12. パターン自動修正機能
13. ソルダーレジスト自動生成

注 *CAM = Computer Aided Manufacturingの略。CADで設計した図面に従って必要なデータを挿入、実際の製造までを自動的に行うシステム。CADと組み合わせることで、工場の完全自動化、生産計画の完全制御を実現できる。

システム図

